



日本共産党 京都市議員
ひぐち英明
議会報告

ホームページ <http://www.5f.biglobe.ne.jp/~higuchi/>

みなさんのご意見・ご要望をお寄せください!

こんにちは ひぐち英明です

第224号 2013年2月1日 連絡先：日本共産党左京地区委員会 Tel.761-6341
：左京生活相談所 Tel.781-6622

展示施設が「屋根付き広場」?

梅小路公園のJR鉄道博物館計画でご都合解釈

■ 土地使用料は半額程度で貸与

下京区にある梅小路公園にはオリックス水族館がすでにつくられています。京都市は公園敷地をオリックスに通常の半額程度の使用料で貸与してあげています。市民には「財政難だから」などと言って、国民健康保険料や介護保険料の値上げなどを押し付けておきながら、大企業の利益のためには公園の使用料を安くしてあげるのですから、許せません。

その梅小路公園に、今度はJRの鉄道博物館を建設する計画が発表されています。JRに貸す土地の使用料もオリックスと同様に半額程度としようとしています。また、JRに土地を貸す代わりに、梅小路公園に隣接しているJRの敷地を、公園用地として京都市が借りるのですが、この使用料は半額程度でなく、通常のコストを払うというのですから、ますます許せません。



■ 展示施設を「屋根付き広場」とご都合解釈

本来、公園の中には建物を建てることはできません。「教養施設」は公園面積の10%まで建築可能という特例があるのですが、水族館と鉄道博物館で10%を大きく超える計画となっています。私は、この点を1月24日のまちづくり委員会で追及したのですが、「鉄道博物館の展示場の一部は壁をつくらずに、柱と屋根だけの「屋根付き広場」になっているから構わない」との答弁。列車の車両が所狭しと展示され、プラットホームがつけられるような展示施設を「屋根付き広場」と解釈してあげて、公園内に巨大建築物を建てさせてあげようというのですから、まさにJRのために至れり尽くせりの対応です。

京都市は、大企業の儲けのために汗をかくのではなく、市民の暮らしを支えるためにこそもっと汗をかくべきです。

倉林さんとキャラバン宣伝

1月17日、7月の参議院選挙の京都選挙区に立候補を予定している倉林明子市議団幹事長と一緒に、左京区各地をキャラバン宣伝。

寒い日でしたが、各所で後援会のみなさんに応援に出てきていただきました。



左京各地で宣伝

修学院横山に鹿よけのフェンス



写真右が住宅地になっています

修学院横山の一部にフェンスがない場所があり、そこから鹿が住宅地に出てきて困っていると、相談を受けました。

その場所は市有地だったので、担当部局に連絡し、鹿よけのフェンスをつくってもらいました。

○ ひぐち英明 ホット・コム ミニ版 ○

次女(2年生)は、日記の宿題が時々あります。その日の日記のタイトルは「とびばことわたし」でした。

跳び箱を上手に跳べた嬉しさが書かれていたのですが、「せいこうのうれしさが、たとえば、4センチメートルほどだったら、もう、4センチメートルをこすほどうれしかったです。」とのこと。

なぜ、4cmなのか聞いてみると、「だって、だんご虫が跳んだら4cmくらいでしょ」と返事が返ってきて、私はますます「???」でした。